



大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 大島出張所



【定点把握疾患】2025年 第36週（9月1日～9月7日）

大島・・・新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 6件
急性呼吸器感染症(ARI) 30件※

利島・・・なし

新島・・・なし

式根島・・・新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 4件

神津島・・・新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 2件

※急性呼吸器感染症(ARI)の報告対象は「大島のみ」で

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター

第35週（8月25日～8月31日）

・今週のコメントは特にありません。

今週のコメント



9月28日は世界狂犬病デーです

出典：厚生労働省

狂犬病は、哺乳類や鳥類などの恒温動物の中でも、特に犬をはじめ、キツネ、オオカミ等犬の仲間が感染しやすいウイルス性の病気です。この病気の恐ろしさは、いったん発症すると現在の医学でも治療方法は全くなく、その死亡率が100%に至るところにあります。

【潜伏期間】 狂犬病のウイルスに感染し、発病するまでのいわゆる潜伏期間は、人では1～3ヶ月、犬の場合は個体差がありますが、普通20日から60日であり平均1ヶ月前後です。

【狂犬病に感染した犬の症状】 狂騒(きょうそう)型と麻痺(まひ)型と言われるタイプがあり、狂騒型では、極度に興奮し攻撃的な行動を示します。また、麻痺型では後半身から前半身に麻痺が広がり、食物や水が飲み込めなくなります。

【感染経路】 人がこの病気に感染するきっかけは色々ありますが、狂犬病の犬に咬まれて感染することが一番多いようです。海外では狂犬病のリスや猫に餌を与えようとして咬まれ、感染する例もあります。

【予防法】 流行地域での動物との接触を避けます。また、流行地域への渡航前には**狂犬病ワクチンの接種**(曝露前予防接種)が推奨されます。

【犬などに咬まれたら】 狂犬病は日本国内では発生していないので感染の心配はありませんが、特に東南アジア等の流行国で狂犬病が疑われる犬、猫および野生動物に咬まれたりした場合、まず傷口を石鹸と水でよく洗い流し、できるだけ早期に医療機関を受診して下さい。

出典：JIHS 感染症情報サイト、厚生労働省、東京都保健医療局

9月28日世界狂犬病デーについて



出典：厚生労働省

犬の飼い主の方へ

下記①～③は法律により義務付けられています。

- ①現在居住している市区町村に飼い犬の登録をすること。
- ②飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせること。
- ③犬の鑑札と注射済票を飼い犬に装着すること。

狂犬病予防普及啓発

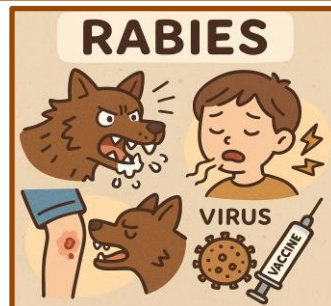


出典：東京都保健医療局

狂犬病予防ポスター



出典：厚生労働省



AIで作成

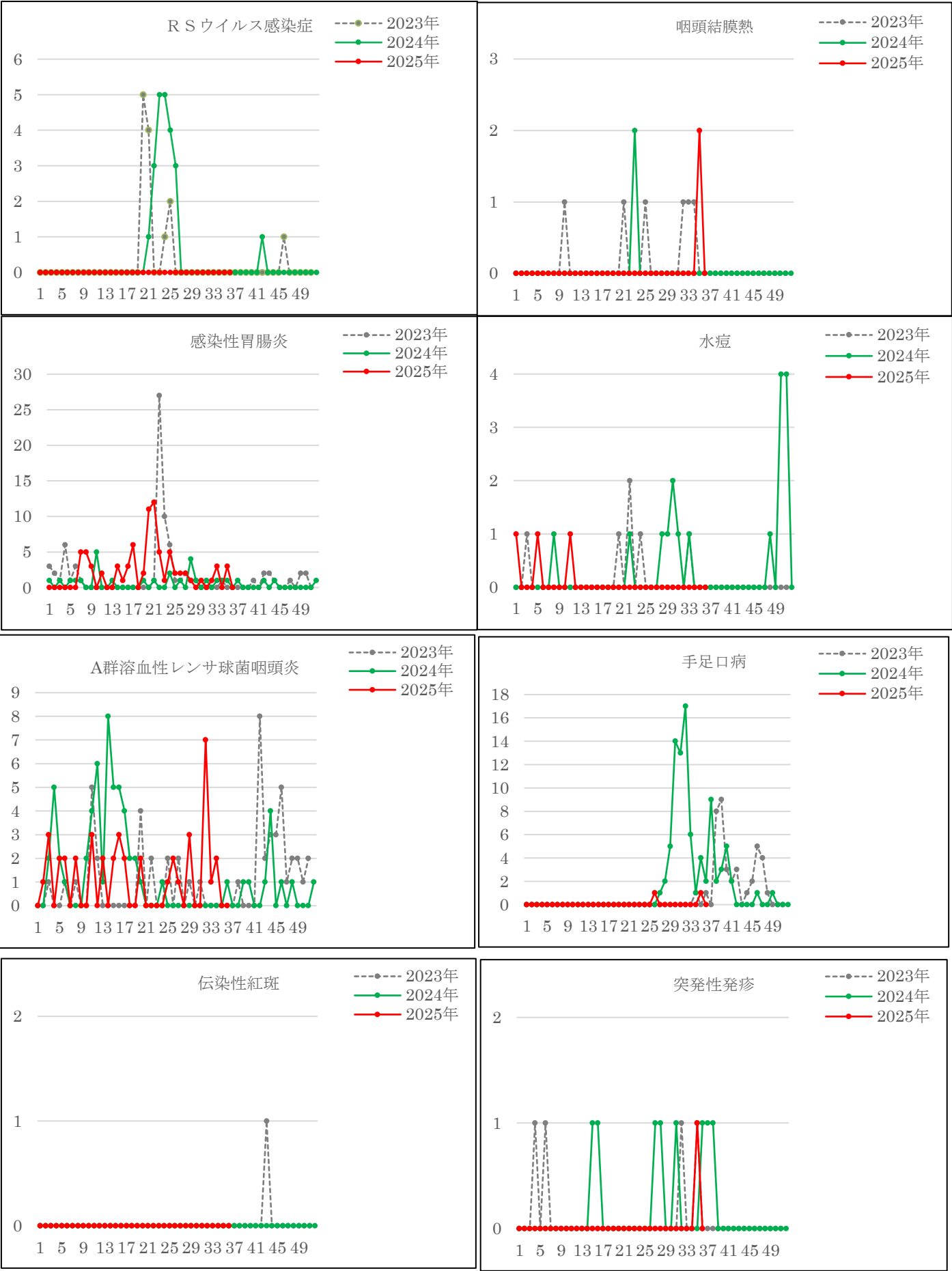
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

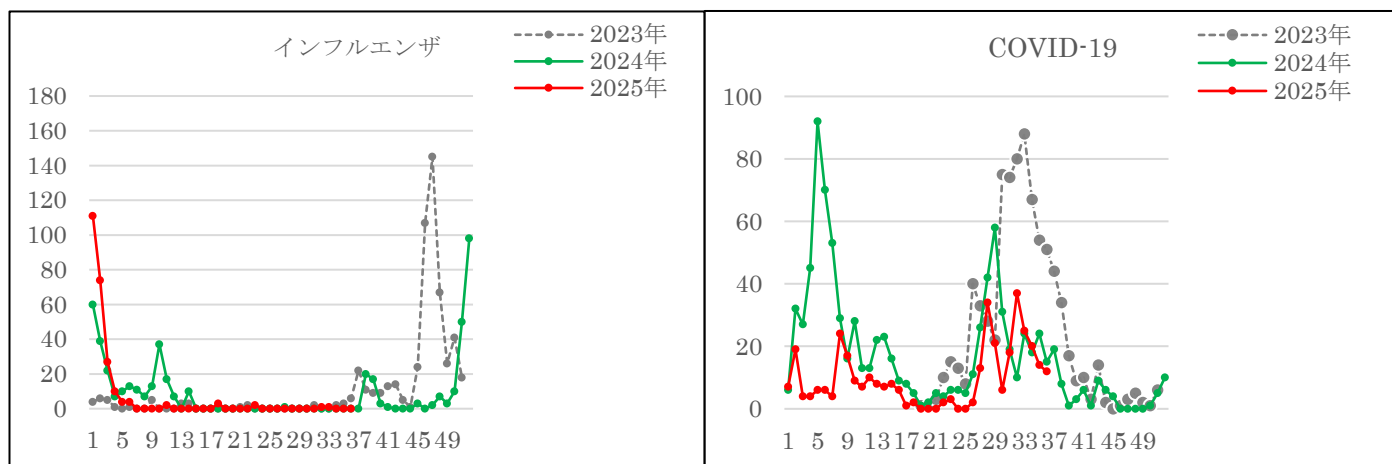
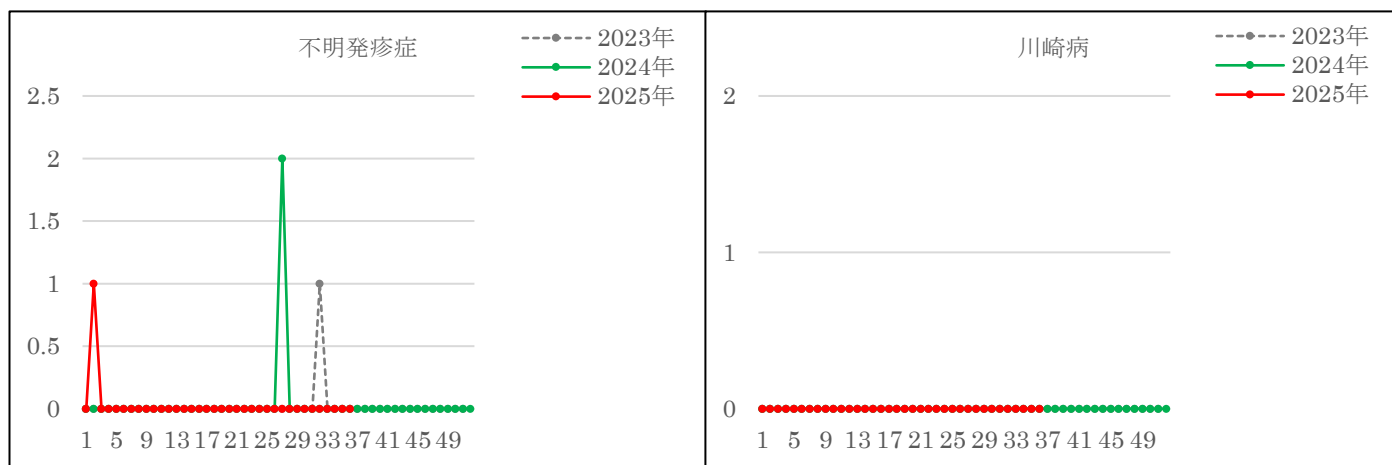
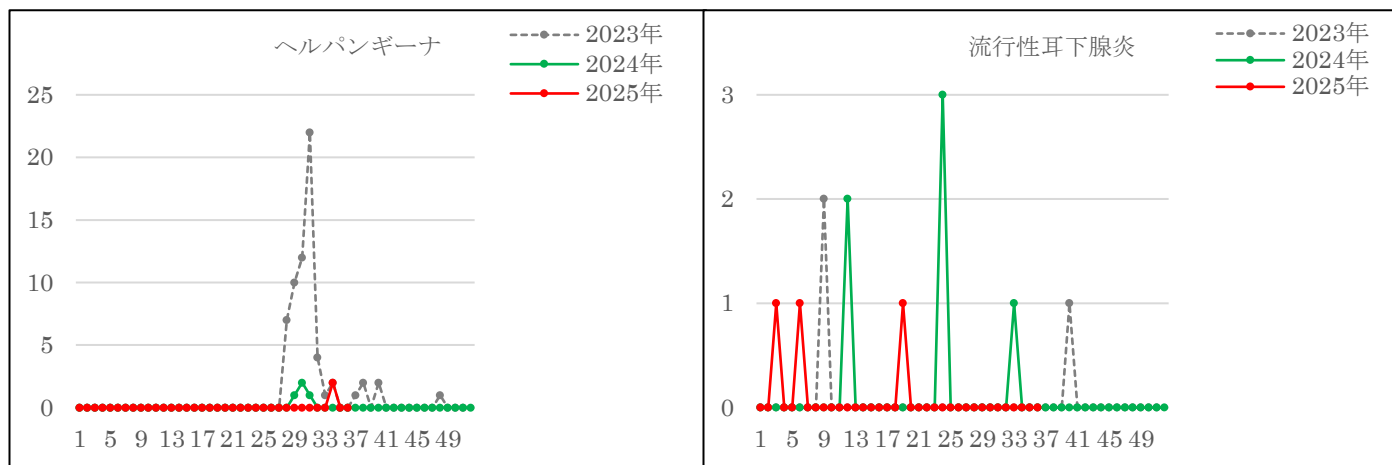
※大島出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/oshima/index.html>

○東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://survey.tniph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>





※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。

大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。また、大島出張所管内では、協力届出医療機関として利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。

<編集・発行>

東京都島しょ保健所大島出張所 電話:04992-2-1436 FAX:04992-2-1740
 新島支所 電話:04992-5-1600 FAX:04992-5-1649
 神津島支所 電話:04992-8-0880 FAX:04992-8-0882

